

い〜わ 河内の風

環境アニメイティッドやお

いきいき八尾環境
フェスティバル 特集号

2011年12月号No.78

環境アニメイティッドやおは、八尾市内で環境問題に取り組んでいる市民・市民団体・企業・教育機関などを応援するための協議会です。

アニメイティッドやお

検索



シャープの
ソーラーカーに
子どもが試乗

P2



企業の
力を結集した
八尾の新名物
パッカーくん焼き

P3

絶滅危惧種

ニッポンバラタナゴ

7年目にして
在来種の繁殖
できるため池に

P4



エコカー
づくり体験
ものづくりの
楽しさと、発電の
大変さを体感

P2



いきいき八尾環境フェスティバル2011



大阪経済法科大学にて

イベント概要

1,800名もの参加者で一大環境イベント 人、人、人の賑わい、ニッポンバラタナゴも約40,000尾

10月23日(日)、大阪経済法科大学花岡キャンパス(八尾市楽音寺)において、「いきいき八尾環境フェスティバル2011」が開催されました。

当日は雨という天気予報に誰もが心配していましたが、天の恵みか、曇り・時々晴れの日となり、キャンパスにはおよそ1,800名もの来場者を迎え、かつてなく盛り上がった環境イベントとして終わることができました。

これだけ多くの参加者でしたから、今回設定した20余の取り組みはどこもかしこも人、人、人の賑わいで、八尾の様々な環境問題への取り組みを親子連れで楽しむ一日となりました。

今回の環境イベントの成功の裏には、前日からの学生や八尾市現業組合その他の人々による大変なご苦労がありました。この場を借りて感謝の意を表するものです。

今回新たに登場した「パッカーくん焼き」は好評のうちに売り切れ、新規に企画されたエコカーづくり体験にも多くの子どもが参加しました。大学ふれあい池では、めだかすくいや水生生物観察会が行われ、また今や名物となっているドビ流しには午前、午後合わせて子ども、市民、学生が延べ100名ほど参加しました

トピックスの1つは、大学ふれあい池でのニッポンバラタナゴの生息数がおおよそ40,000尾に増加(前年の4倍)!

今年は東日本大震災と原発事故、和歌山・奈良の台風被害と災害が続いており、そこでイベント参加者が舞台上に上り元気が出る歌を歌い、「日本応援」の動画を作成しました。

環境アニメイティッドやお
広報委員長 東郷 久

開会式 表彰

13時から式典が開催
来賓の挨拶や祝電披露

「学校園の環境配慮の取り組み」
表彰も行われる
9学校園が授与される

心配された雨もあがり、和太鼓演奏のあと10時に開会宣言がされ、各ブースでの展示や食品の販売が開始。会場には既に大勢の市民が集まっていて、それぞれ興味あるブースで楽しむ様子があちらこちらに・・・。

そんな中、13時から式典が開始。ケヤキ広場に設置された舞台上に来賓の方々が登壇し、挨拶や祝電披露が行われました。

次いで、例年通り「学校園、環境配慮の取り組み表彰」で金賞、銀賞、銅賞を獲得された9学校園の取り組み紹介があり、表彰状と副賞が授与されました。



壇上に並ぶ来賓の皆様

広場には観客席に腰かけて始めから見学される人、遠くから眺めている人、表彰を受けた子どもたちのご家族の方でしょうか、撮影をする人などあり、和やかな雰囲気のもと式典は進行了。来賓の方々も、式典の前後で各ブースに立ち寄り、展示や体験を楽しまれました。

いきいき八尾環境フェスティバル2011
実行委員長 美馬 徹さん

太陽光 発電実験

静か！速い！すごい！ ソーラーカー

「太陽光発電実験体験」と題しての学習会も、今回で5回目となりました。

本年も、午前・午後の2部制で開催をし、小学生を中心に約50名の方が参加されました。

学習会におきましては、元気あふれる子どもたちに助けられながら、笑顔と元気な声が絶えない楽しいものとなり、来年へ向けての「やる気」と「エネルギー」をいただきました。

また、本年初めての試みとして、受講された子どもを対象に、ソーラーカーの試乗会も開催し、「静か」「速い」「すごい」等の歓声をいただきながら、楽しい学習会となりました。

是非、来年も1人でも多くの子どもたちの参加をお待ちしております。

シャープ株式会社
健康・環境システム事業本部
総務部 副参事 村田 佳弘さん



エコカー づくり

牛乳パックで工作体験

満員の会場で 2時間以上かけて完成した エコカーに大喜び！

今回、はじめて子ども向けエコカーづくり体験を企画しました。事前に28名もの申し込みがあり、会場はほぼ満員でした。

東日本大震災を契機に、エネルギー問題がクローズアップされています。牛乳パックを利用し、パッカー車をモチーフにしたエコカーづくりに、子どもたちは一生懸命取り組んでくれました。それぞれが、完成した「エコカー」に一喜一憂でした。

電池以外にも発電機を手で回し、コンデンサー（蓄電池）に溜めて走らせました。手回しで発電



うまくできるかな？

したエネルギーはすぐ消費してしまうので、エネルギーを作る大変さを経験していただきました。

講師には、大阪の電気街日本橋から大野一廣さんと、大阪ハイテクノロジー専門学校4名の学生さんが来ていただきました。お昼休憩なしで子どもたちへのフォローをしていただき、ありがとうございました。

NPO 法人 グラウンドワーク八尾
大阪 KES 環境機構 0-KES 担当理事
温川 政佳さん

節電 コンテスト

**50%以上の
節電成功者も来場！**

**電気の検針票をもとに
今年の電気使用量と比較し
節電率を計算**

3月11日の震災への対応策として、本年は多くの市民の方々が節電に取り組んでくださいました。

その取り組みを、震災への対応という面だけではなく、環境配慮の側面からも冬の節電に継続していただけるようにという想いで、節電コンテストが実施されました。

フェスティバルの会場に電気の検針票を持参していただき、その場で節電率を計算するという方法でコンテストを実施し、57名の方々に参加していただきました。



田中市長から記念品を受け取る入賞者

最も多く節電をされた方は、なんと50%以上もの節電に成功しておられました。

節電コンテストに参加された方のCO₂削減量は合計2,156kgでした。改めて市民の方々の意識の高さと行動力を感じさせられました。

また、豪華景品をご協賛いただきました企業の皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

この冬の節電への取り組みも継続してよろしく願いたします。ありがとうございました。

いきいき八尾環境フェスティバル 2011
実行委員会 事務局

パッカー くん 焼き

行列ができるほど、大好評！

**八尾市内の企業(焼き台製作)
と八尾の特産品(中身)
が見事にコラボ**

八尾市内に知らない子どもたちはいないと言われるほど大人気の環境啓発キャラクター「パッカーくん」が、食べ物になってフェスティバルに初お目見えしました。一見すると普通のたい焼きのようなものですが、中身の餡はさつまいも、かぼちゃ、八尾の特産品である枝豆を使ったり、また生地に恩智産の小松菜を練りこんだものも販売するなど、“地元で作られたものを地元で食す”という「地産地消」をテーマにした、環境フェスティバル特別仕様のものとなりました。また、パッカーくんの焼き台は、



まだかな？まだかな？

八尾市内の企業の方々にご協力いただき、八尾が誇るものづくりの力を結集し製作しています。

パッカーくん焼きは、午前11時からの販売開始でしたが、忙しさのあまり担当者が悲鳴を上げるほど大盛況で、フェスティバル終了1時間前の午後2時には約600個が完売しました。今後、八尾の名物になること間違いなしです。

いきいき八尾環境フェスティバル 2011
実行委員会 事務局

環境 サロン

新学生棟クロノスにて開催

日ごろの取組み(省エネ、廃棄物のリサイクル等)について 意見交換を行う

自然環境保護活動、環境教育等をされている立場から体験談を交え、次のような意義のある話がありました。

◆活動成果を高めるには事業者、NPO 団体、学校・大学、市民の間の連携・コミュニケーションをもっと密にする取り組みが必要である。このことは今後の環境経営によるエコ製品・技術の創出やエコ産業への転換、一人ひとりの環境意識やエコな住環境づくり、チャレンジ 80 (やお) にも向けた地域全体の環境経済の発展につながる。



環境マネジメントシステムの取得実践企業 10 社、環境 NPO の 4 団体及び大阪経済法科大学・教職員のみなさん

◆KES※は環境経営と地域との共生の機会を提供しており、京都で数年前より KESC (京都環境コミュニティ活動) の活動が実践・展開されている。環境にやさしい地域づくりに成果をあげられており、大いに参考となる。

大阪 KES 環境機構 主幹審査員
清原 完次さん

※KES…「環境マネジメントシステム」の規格です。「環境マネジメントシステム」とは、企業等の経営に当たって環境への負荷を管理・低減するための仕組みです。

ドビ 流し

ふれあい池の生物多様性

7年目にしてようやく 在来種が繁殖するため池に

今年でふれあい池の“池干し”※も 6 回目になりました。

あいにくの曇り空でしたが、無事ふれあい池の“池干し”を終え、大量に繁殖した生物の現状を確認することができました。

昨年の池干しでは、外来種のブルーギルが 1 尾捕獲されたので、今年はブルーギルの稚魚が大量に繁殖しているのではないかと心配していました。しかし、ブルーギルは全く見当たらず、例年、たくさん捕獲されるアメリカザリガニやウシガエルのオタマジャクシも数匹しか採集されませんでした。

7年目にして、在来種が安定して繁殖するため池になったようです。



ふれあい池での池干し作業

底引き網で採集した数
ニッポンバラタナゴ：約 13,500 尾
ヨシノボリとメダカの合計：約 15,000 尾
ドブガイ：約 3,500 個体
ニッポンバラタナゴにマークをつけて個体数推定を行うと約 4 万尾まで増殖していることが明らかになりました。

NPO 法人 ニッポンバラタナゴ高安研究会
代表理事 加納 義彦さん

※ドビ流し(池干し)
年に一度池の底に堆積したヘドロを取り除くため、池の栓を抜く作業のことを言う。

エコウォーク

景色を見ながら
ゆっくり歩こう！



今年で2回目となるエコウォーク、昨年に続き受付時間前から服部川駅の前に大勢の参加者が集まり、盛り上がりを見せてくれました。

今年は「CO2 排出削減」だけでなく「景色も見ながらゆっくり歩こう！！」という事で45分という所要時間を設けました。

また昨年度は、各チェックポイントにスタンプを配置していたのですが、長蛇の列ができてしまい混雑していたので、今年はスタンプを廃止し、クイズ形式にすることで解決しました。

参加者の中には昨年も参加された方も多く、楽しみにされていたようでした。次回も楽しんでいただけるように企画・運営していきたいと思えます。

ECO~る∞KEIHO 藤本 康嗣さん

スタンプラリー エコわたがし

スタンプを
もらって
綿菓子作り



今年も昨年に引き続きキャンパススタンプラリーを行いました。

今年は、ふれあい池や企業、地域団体、学生の企画ブースを回り、クイズや体験をするとスタンプがもらえる企画にしました。目的は、環境について知ってもらうことです。

当日は多くの子もたちが参加してくれました。子どもたちがクイズを答えようと考えている様子や、綿菓子を作っているときの喜んでる様子が印象に残っています。学生も一所懸命に企画を考えたいがありました。本当に良かったと思っています。

ECO~る∞KEIHO
西堀 裕紀さん

音楽会

講念佛踊りと
高校生・大学生
による演奏



今年の舞台は、路上喫煙マナー音頭、講念佛踊りで幕をあげ、迫力ある和太鼓「八分」の演奏、子どもさんも思わず一緒に踊り出された「まる・まる・もり・もり」など、それぞれの持ち味を十分に発揮された音楽会で、来場いただいた方々も盛大な拍手で盛り上げてくださいました。

大阪府立八尾北高等学校 塚口 倫生さん



ネイチャークラフト



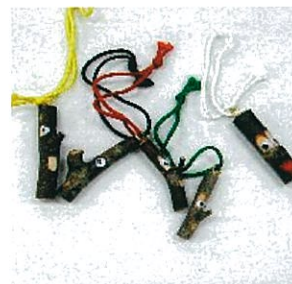
工作風景



ラセンゴマ

自然楽校で学んだ成果を出そうとネイチャークラフトに取り組みました。ドングリのラセンゴマ、タケのカエル、マツボックリのカメに人気が集まりました。工作や作品の売り上げは、すべて義援金として寄付しました。

高安の森 自然楽校 斎藤 侑三さん



小枝のモックン



鉛筆ブローチ

食文化

地域の恵みを
地域で！

食エコを
ランチに！



“身近な食生活からエコを考える「食エコ」をランチに！”をテーマに始めた八尾特産の枝豆を食材にした「枝豆おにぎり」と「枝豆蒸しパン」の販売。もうすっかり、このフェスティバルのお馴染みのコーナーに定着しました。

「枝豆のおにぎりおいしいから、いつも来ていますよ！塩加減など教えて」という声、「食エコ」として、気軽にトライできる地元で採れた食材を地元で味わう“地産地消”。

来年は『レシピ』の配布や子どもを対象にした『おにぎり体験教室』の開催等にも取り組みたいと思っています。

八尾の食文化を考える会
石黒 美喜さん

フリーマーケット

八尾市現業労働組合が中心
となり第1回
目より担当



「いきいきやお環境フェスティバル」でのフリーマーケットについては、受付から当日の案内までを「環境イベントサポーター」で担っています。

今年は、前日の雨で開催が少し危ぶまれましたが、時折晴れ間も覗く天候となりました。

構内の都合上、20店舗弱しか出店することができませんが、出店されている方は慣れた方が多く、威勢のいい声があちこちで聞こえていました。

これからも、フリーマーケット出店の方々のサポート役を目指していきたいと考えています。

八尾市現業労働組合
松本 高士さん

出展

企業ブース

大阪ガス株式会社
國陽電興株式会社
花王カスタマーマーケティング株式会社
日本カフェテリア株式会社



本年は、新たに参加していただいた企業もあり、例年以上に盛り上がりを見せることができました。

大阪ガスと花王は自社に関連したエコクイズを子どもたちに出題し、景品を出して盛り上げていただきました。

日本カフェテリアはリユースできる容器に入ったお弁当を販売いただき、おいしくエコを体験できる工夫をしてくださり、國陽電興はLEDを使用した照明を展示し、啓発を実施していただきました。

出展企業の協力のおかげで、多くの子どもが環境について楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。

いきいき八尾環境フェスティバル 2011
実行委員会 事務局

スター☆ドーム

「地球に存在する
ことの本質を
学ぶ」を实践



「スター☆ドーム」は竹川大介氏を中心に、「九州フィールドワーク研究会（野研）」のメンバーが4年がかりで独自の工夫が重ねられたものです。

今回は高安山から里山保全活動の一環で素材の竹を切り出し、その独創的で幾何学的なエッセンスは観る人を魅了するものとなった様で、地元高校で環境出張講座、同校学園祭では「プラネタリウム」として活性化しました。フェス当日の「スター☆ドーム」内には「星に願いを！」のテーマで「感謝の言葉」短冊が沢山結ばれていきました。また、「ジャンボしゃぼん玉」「地震モデル実演」「手作りおもちゃ」で遊ぶ、子どもたちの笑顔は何よりもかけがえのない「未来を生み出す希望の光」の様で、あらためて今回の機会に参加させて頂きましたことを感謝申し上げます。

一般社団法人 ANSHINH 長沢 克彦さん

地域通貨

1フレ=1円

八尾市内
だけで流通
八尾のまちを
元気にするお金



今回のフェスティバルでは、運営ボランティアさんへの謝礼や環境配慮表彰の賞品として、合計324,000フレを発行させていただきました。

当日はフリーマーケット（107,600フレ使用）や各出店ブースでもフレを受け入れていただき、多くの方にフレを知っていただく機会となりました。

フレは、八尾市内の商店約380店舗でもご利用いただけます。地元の商店で買い物をすることで、その価値を八尾市内にとどめていきます。いわばお金の地産地消です。

これからもますますフレが流通し、八尾のまちが活気づくことを願っています。

NPO法人 八尾市生き生き会議
事務局長 服部 正志さん

日本応援



つながろう 自然の環 人の輪 心の和



「みんなで日本応援」では、当日参加者（主催者、田中市長、藤本学長、市民、学生）が舞台上に上り、東日本大震災からの復興を願う“日本応援”のメッセージを伝えるとともに「野に咲く花のように」と「手のひらを太陽に」を熱唱しました。

大阪経済法科大学 学会事務室

あいさつ

実行委員長
美馬徹さん



2005年の初開催から、体験型を目指して進めてきました。

7回目に当たる今回は、東日本大震災、福島原発事故、台風による南紀の災害があり、改めて環境に対する取り組みを考える機会になりました。

「環境は自然の営み、人々の生活そのもの」で、環境を常に見直すことは大切です。このフェスティバルが、環境を身近なものとして感じ、行動するきっかけとなれば幸いです。

いきいき八尾環境フェスティバル 2011
実行委員長 美馬 徹さん

活動情報

ご参加を
お待ちしております

第1日曜日

高安山
自然再生定期活動

参加者
募集

第1金曜日

広報紙印刷
& 広報委員会

※変動する場合があります。

第2火曜日

企画推進委員会

第3火曜日

運営会議

第3木曜日

楽音寺
森林整備活動

参加者
募集

第3土曜日

八尾ふるさと
歴史楽校

参加者
募集

第4月曜日

FMちゃおの放送
「情報プラザやお」

第4土曜日

高安の森自然楽校

参加者
募集

お問合せ先

環境アニメイティッドやお
事務局（八尾市環境保全課）
TEL 072-924-9359 FAX 072-924-0182
Mail info@eco-ani-yao.org